

## 令和元年度千葉市あんしんケアセンター運営事業実績報告書の総括

項目	評価ができる事項	課題と考えられる事項
第1号介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会や生活支援コーディネーター等と連携し、介護予防・日常生活支援総合事業対象者や介護支援専門員に対し、適切な情報やサービスの提供を行っている。</li> <li>・地域活動や総合相談の際に基本チェックリストを活用し、適切なアセスメント及びケアマネジメントの質を向上させている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険サービスとインフォーマルサービスを適切に活用するため、地域資源の情報収集及び周知や創出に向けた取り組みを積極的に行う必要がある。</li> <li>・事業対象者の把握や、その後のアセスメント・アプローチが適切に行えるように引き続き検討する。</li> </ul>
総合相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応困難事例等については、相談の終結まで3職種で共有することで、多角的・組織的な対応を行っている。</li> <li>・高齢者虐待、精神疾患、貧困等多様な相談ケースに対応できるよう関係機関との連携やネットワークの構築を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域により相談件数やあんしんケアセンターの認知度に違いがあるため、出張相談等を行い周知を図る必要がある。</li> <li>・災害発生時の安否確認等の対応方法について検討を行う必要がある。</li> </ul>
権利擁護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待の早期発見・早期解決のため、区高齢障害支援課や医療機関、介護支援専門員、民生委員等の関係機関との連携強化を図っている。</li> <li>・成年後見制度や消費者被害の講演会を開催し、地域住民等に周知啓発を図っている。</li> <li>・認知症に対する正しい知識や理解を深めるため、地域住民や小中学生に認知症サポーター養成講座を開催し普及啓発に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待発見に繋がりやすい介護サービス事業所等に対しても啓発を行い、虐待防止及び早期発見のネットワーク構築を図る必要がある。</li> <li>・エンディングサポートや年金相談など、人生の最後をどのように迎えたいか高齢者自身が考え決定できる機会をつくっていく必要がある。</li> </ul>
ケア包括的・継続的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員に対し、区単位や圏域単位に研修会や事例検討会を行うとともに、圏域内の居宅介護支援事業所訪問、困難事例に対する同行訪問等を行い、支援技術の向上を図っている。</li> <li>・台風による被害を踏まえ、多職種連携会議や地域ケア会議等で意見交換を行うなど、災害対応について地域関係者と共に検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関や障害福祉関係者等も含め、様々な関係機関との情報共有を図り連携していく必要がある。</li> <li>・地域課題の検討に関する地域ケア会議では、様々な関係機関の参加により課題の共有はできているが、課題の解決には至っていない。</li> </ul>
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関連機関や健康課、社協地区部会等と連携し、栄養士・理学療法士等の専門職の協力も得ながら介護予防活動に関する講座や教室を開催している。</li> <li>・基本チェックリストやいきいき活動手帳を活用し、セルフマネジメントの重要性やその手法について伝えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防に取り組むために、いきいき活動手帳を活用した具体的なセルフケア方法を伝えているが、その後の評価には至っていないため、セルフモニタリングを高める取組みが必要である。</li> <li>・普及啓発の活動が一部の地域に偏らないよう、また参加者が広がるよう工夫していく必要がある。</li> </ul>
地域介護予防活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンやシニアリーダー体操教室、見守り活動等を行っている地域に出向き、各団体の抱えている課題の把握に努めている。</li> <li>・活動に有用な情報提供や団体間の交流を行い、活動の活性化に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場の立ち上げにあたり、活動場所の確保、担い手の高齢化や運営上の負担感等が地域課題として挙がっている。</li> <li>・生活支援コーディネーターや社協等と連携し、若い世代へのアプローチも含め検討していく必要がある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取扱いにあたっては、職員への研修実施、持ち出し時の複数職員による確認や管理簿による管理を徹底し、個人情報に関する意識付けをしている。</li> <li>・ケアプラン作成時には、特定の事業者にサービスの利用が集中しないよう、公正・中立性の確保に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上に向け、職員に対する研修を充実していく必要がある。</li> <li>・災害時のセンターとしての役割や必要物品等について整理し、災害時でも運営ができる体制を整える必要性がある。</li> </ul>